

# 令和6年度大学院入学試験事前課題 (中期募集)

## 教育実践高度化専攻

### 教科教育・教科複合実践研究コース

#### (芸術創造領域 音楽分野)

#### 注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送すること。なお、問題用紙は回収しない。

## 問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

### ◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第3指導計画の作成と内容の取扱い」の2(9)には、「各学年の〔共通事項〕の(1)イに示す「音符、休符、記号や用語」については、児童の学習状況を考慮して、次に示すものを音楽における働きと関わらせて理解し、活用できるように取り扱うこと。」としている。

このような取り扱いは具体的にどのような学習活動によって意味のあるものとなるか。指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

### ◎ 声楽

合唱活動は生涯学習として人気のある音楽活動である。社会においてこの活動はどのように人気があるのか。その理由について、合唱音楽の特徴を挙げながらあなたの考えを述べなさい。

### ◎ 器楽

社会や学校の中では、他者とともに問題を考え解決する場面が多く存在する。器楽でのアンサンブルもまさに他者と協働して創りあげる音楽である。あなたは、どのようなプロセスを経て理想とするアンサンブルに仕上げていきたいか、述べなさい。

### ◎ 作曲

これは、小学校高学年の音楽づくりの授業を念頭に置いた問題である。1枚のカードに、2/4のリズム（1小節分。主に四分音符と八分音符による）が書かれたものが数枚ある。これから、このカードを並べ替えることで、数小節の短いリズムの創作を行うところである。このカードの並べ替えを、音楽づくりと言える活動にするために有効な教師の働きかけを複数あげて、その理由も述べなさい。

### ◎ 音楽学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』では、「第3学年及び第4学年で取り上げる旋律楽器の選択」について、リコーダー、アコーディオン、ピアノなどのほか、「<sup>箏</sup>（こと）」など、無理なく取り組むことができ、我が国の音楽のよさを感じ取れる和楽器の中から、児童や学校の実態に応じて選ぶようにすることが大切である」とされている。

あなたは、箏は児童・生徒が「無理なく取り組むことができ」る楽器だと考えるか、理由とともに示しなさい。また、箏によって感じ取られるべき「我が国の音楽のよさ」とは何か、あなたの考えを述べなさい。

\*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』東洋館出版社、p.132